

酪農場のデータを使って乳牛の健康状態を改善する！

概要 Abstract

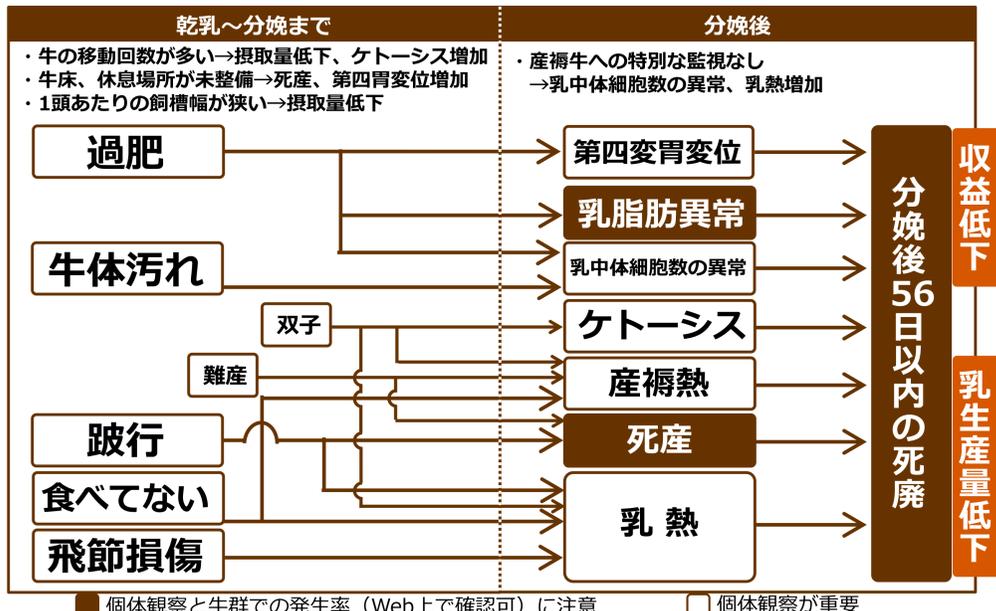
農場の収益と乳生産に対し、死亡による廃用（死廃）は負の影響を及ぼす。そこで死廃を指標とし、酪農場で蓄積されている乳生産や家畜診療のデータを活用した周産期の健康状態を監視する方法を作成した。死廃を低減するためには、初回検定の乳成分値異常率と死産率の監視、分娩前の牛の観察（太り具合など）および飼養環境整備、分娩直後の牛への特別な監視が重要である。



・分娩に近い牛には快適な環境を提供しましょう。

成果 Results

- 死廃の原因は分娩前（乾乳期）にさかのぼる！

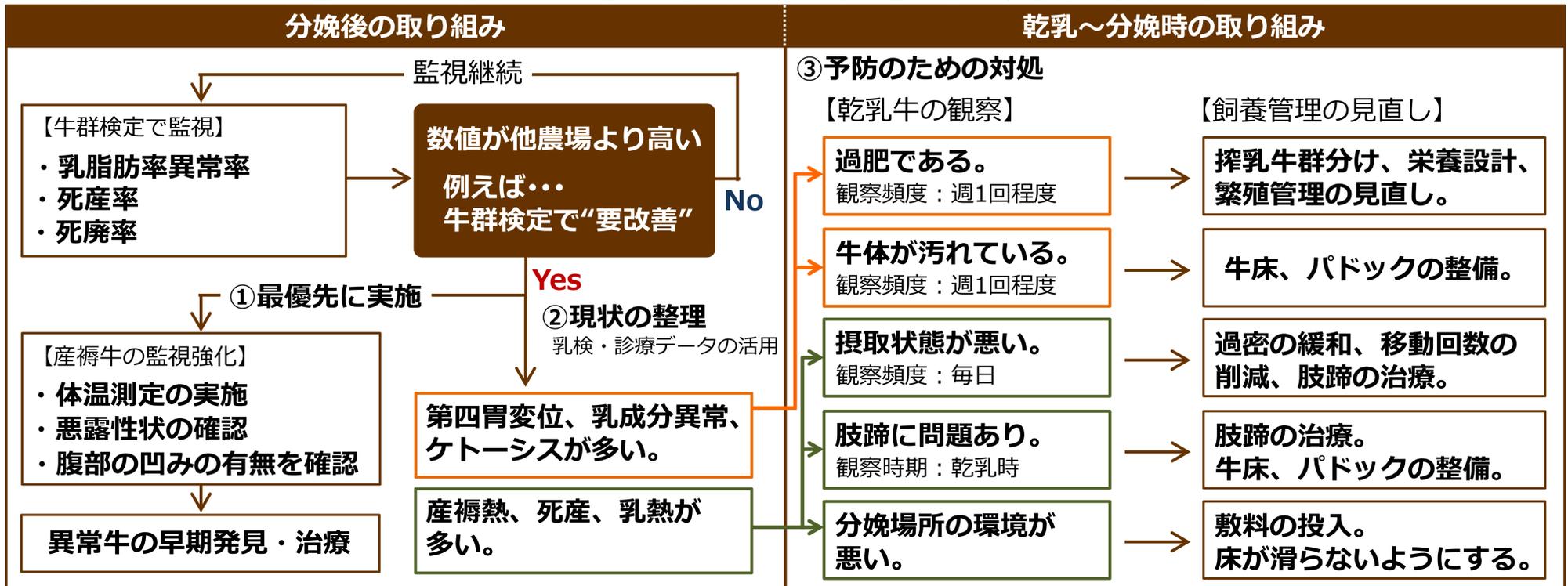


- こんな牛には要注意（分娩後病気になりやすい）



図.1 死廃の発生に関連する周産期におけるリスク要因の関係

- 酪農場のデータ利用と牛の観察を組み合わせ、酪農場の現状確認と改善対策を考えましょう。



普及 Dissemination

- ・本結果は酪農関係者が周産期管理を改善する際の参考とする。
- ・草地型酪農地帯A農協管内の牛群検定および家畜共済を利用する76戸（放牧以外）のデータを利用。

連絡先 Contact

酪農試験場 酪農研究部 乳牛グループ Tel : 0153-72-2004 E-mail : konsen-agri@hro.or.jp